

# タンザニア 7 地域の市場調査

— 取り扱い食品から見る地域食性 —

宇都宮大学国際学部多文化公共圏センター 武藤 杏子

宇都宮大学国際学部多文化公共圏センター 津田 勝憲

京都大学アフリカ地域研究資料センター 加藤 珠比

植物図鑑作家 林 将之

「在来知の格差・近代の変容・革新」 科研費研究協力者 奥井 鮎沙

宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティーデザイン学科 大森 玲子

宇都宮大学国際学部国際学科 阪本 公美子

## 目的

2022年にタンザニア 5 地域の市場調査を実施し報告した（武藤, 2023）。その結果、市場で取り扱う食品に各対象地域の特色、地域食性との関係性が示唆され、地域食性は地理的特性や宗教的背景が影響する（石川, 2000）という既知の情報と一致する結果が示された。この結果を踏まえ、タンザニアのそのほかの地域の食性を確認するために2023年に新たに 2 地域で調査を実施した。

## 対象

タンザニア国内で主食に用いられる食料の生産量には大きな地域特性がある。全国的に生産されているトウモロコシ（The United Republic of Tanzania (URT), 2021）は、タンザニアの主食の 1 つであるウガリの主材料である。Cochrane ら（2015）が実施した食糧バスケット調査によると、キャッサバの生産は、海岸沿い及びヴィクトリア湖付近で生産が特に多く、2021年のURTの報告でもタンザニア本土で最大の収穫面積を持ち、海沿いの南東部に位置するムトララと比較して、ダルエスサラーム及びリンディの収穫面積は中程度であり、モロゴロ及びドドマはわずかであった。エネルギー摂取は南部高

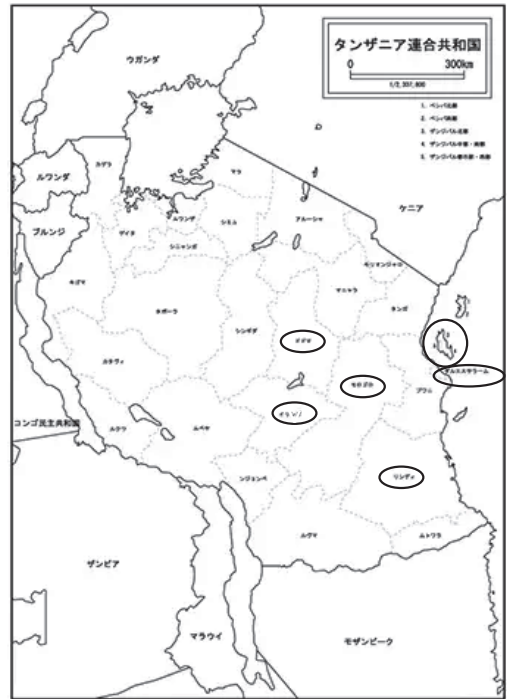


図1 タンザニア対象地域地図 白地図専門店より引用し、筆者が編集

原で、トウモロコシ由来が約半分を占めていた（51%）が、地域により摂取する炭水化物供給源の食料品目および種実類が異なる。しかし、たんぱく質供給源は豆が中心であり、肉や魚などからの摂取は全国的に不足傾向である。

今回の対象地域は、2022年に実施したタンザ

ニア東海岸のインド洋上に位置するザンジバル島（以下、ザンジバル）、タンザニア中央部に位置する半乾燥地域ドドマ州ドドマ市（以下、ドドマ）、南部高原地域に位置するイリング州イリング県イリング市（以下、イリング）、及び農村地域イフンダ郡（以下、イフンダ）、タンザニア南東部に位置しインド洋に面するリンディ州リンディ県リンディ市（以下、リンディ）の5地域に、タンザニア最大の経済都市であり以前の首都であるダルエスサラーム州（以下、ダルエスサラーム）、タンザニア中東部に位置するモロゴロ州（以下、モロゴロ）の2地域を追加し、計7地域を調査対象とした（図1）。なお、対象市場は、イリング市、イフンダ郡を除き、必ずしも各地域において代表的、もしくは網羅した市場とは限らない。また、ダルエスサラームのKariakoo市場は市場中心の建物が改装中につき、調査範囲に制限があった。

## 方法

2022年8月10日から9月9日、2023年8月17日から9月9日の間に各地域の市場に筆者らが直接訪問し、写真での記録及び市場関係者への聞き取り調査を行いデータ収集した。また、2017年10月～2020年2月の間に取り扱いが確認できている食品については「既知の知見」として別途明記した。2022年に分類した「葉物野菜」、「その他の野菜」、「主食となる食品」、「果物」、「肉」、「魚介類」、「香辛料」、「その他」に、新たに「豆類」及び「種実類」を追加した。「その他」には、塩、砂糖、油といった基本調味料に加えトマトソースやピーナッツバターを含む調味料、コーヒーや炭酸飲料を含む清涼飲料、スナック菓子や現地特有の菓子を含む菓子類、卵、牛乳、調理道具を含む生活用品などを含めた。

## 結果

調査結果を表1～10に示す。食品名については、日本語名（一部学名）および現地語のスワヒリ語名（一部へへ語や英語）をそれぞれ記す。取り扱いがある食品に「○」印をつけた。なお、大きな市場については「市場」、地元住民が利用するような小さな店については「商店」と記載した。ザンジバルのパジェ村で調査した商店11店舗については、集約し記載した。

葉物野菜では、ドドマ、ダルエスサラーム、モロゴロでの取り扱い種類が豊富であった。一方で、イフンダ及びリンディでの取り扱い種類は少なかった（表1）。その他の野菜は、いずれの対象地域でも取り扱う種類が豊富であり、特にダルエスサラームとモロゴロでの取り扱い種類が豊富であった。パプリカ、カリフラワー、ネギといった西洋野菜の扱いは、ドドマ、イリング、ダルエスサラーム、モロゴロの4地域のみであった（表2）。豆類は、ダルエスサラーム及びモロゴロで豊富な種類を確認できた。その他地域の市場でもいくつかの種類の豆類を確認できた（表3）。主食となる食品は、いずれの地域でも多様な種類を取り扱っていたが、特にダルエスサラームとモロゴロで取り扱い種類が多かった（表4）。果物は、ザンジバルでの取り扱い種類が他6地域よりも多かった。モロゴロで確認したMbilibiはスターフルーツと同属のナガバノゴレンシ (*Averrhoa bilimbi*) を指す。また、柑橘類としてミカン類の取り扱いがあったが、いわゆる日本のウンシュウミカンとは異なる品種であった。日本語名がない在来の野生果実は（表に学名明記）、イリングで取り扱いが特に豊富であった（表5）。種実類は、モロゴロで取り扱いが確認できた（表6）。肉は、ザンジバル、ダルエスサラーム、モロゴロでのみ確認できた。ザンジバルとダルエスサラームで取り扱われていた肉類は、鶏と牛、モロゴロではハト肉の取り扱いも

表1 葉物野菜（7地域の市場での取り扱い）

エリア	調査実施年	Zanzibar						Dodoma		Iringa		Ifunda		Lindi	Dar es Salaam			Morogoro			
		2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2017-20	2022	2017	2022	2023	2023	2023	2023	2023	2023	2023
		場所	Darajani	Chaani	Chaani	Paje	Makunduchi	Makunduchi	Majengo	Soko la	Soko kuu	既存の	市場とその	既存の	市場	Temeke	Nyuki	Kariakoo	Soko ya Mji	Kingar	Dumila
食品名(日本語、学名)	食品名(スワヒリ語等)	市場	市場	商店	1-11	商店1	商店2	市場	dugai	市場	市場	市場とその	付近の商店	付近の商店	付近の商店	市場	市場	市場	市場	市場	
キャベツ	Kebeji (Kabechi)																				
葉キャベツ	Kebeji (Kabechi) zambarau																				
ほうれん草	Spinachi																				
白菜	Chinese kebeji																				
チンマイ等の葉	Matembeli																				
かぼちゃの葉	Majani ya maboga																				
ゴッアゲイトウ	Mchicha																				
アマランサスの在来種	Mchicha kienyeji/gori																				
イヌホオズキ	Mnafa																				
カラシナ	Figili *																				
セロリ	Figili *																				
大葉の葉	Majani ya figili																				
サザゲの葉	Majani ya kunde																				
ケール	Sakuma wiki																				
ルッコラ	Rucola																				
イタリアンパセリ	Parsley ya Italia																				
レタス	Lettuce																				
安心菜	Mchicha maji																				
キャッサバの葉	Majani ya mhogo																				
キャッサバの葉加工品	Kisamu																				

\*Figiliと呼ばれる野菜が複数存在する。いずれも在来種ではない。野菜のため、Figiliの名称が用いられていると推察する。

表2 その他の野菜（7地域の市場での取り扱い）

エリア	調査実施年	Zanzibar						Dodoma		Iringa		Ifunda		Lindi	Dar es Salaam			Morogoro			
		2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2017-20	2022	2017	2022	2023	2023	2023	2023	2023	2023	2023
		場所	Darajani	Chaani	Chaani	Paje	Makunduchi	Makunduchi	Majengo	Soko la	Soko kuu	既存の	市場とその	既存の	市場	Temeke	Nyuki	Kariakoo	Soko ya Mji	Kingar	Dumila
食品名(日本語、学名)	食品名(スワヒリ語等)	市場	市場	商店	1-11	商店1	商店2	市場	dugai	市場	市場	市場とその	付近の商店	付近の商店	付近の商店	市場	市場	市場	市場	市場	
大根	Figili *																				
ピーマン	Pilipili hoho																				
オクラ	Bania																				
ニンジン	Karoti																				
ニンニク	Biringanyi																				
米ナス	Biringanyi																				
アフリカナス	Nyanya chungu																				
アフリカナス	Nyanya chungu kienyeji																				
トマト	Nyanya																				
玉ねぎ	Kitunguu																				
葉ねぎ	Kitunguu cha zambarau																				
長ねぎ	Leki																				
きゅうり	Tango																				
ズッキーニ	Zukini																				
パプリカ	Paprika																				
ブロッコリー	Broccoli																				
カリフラワー	Kaliflower																				
キノコの類	Unga wa wogea																				

\*Figiliと呼ばれる野菜が複数存在する。いずれも在来種ではない。野菜のため、Figiliの名称が用いられていると推察する。

表3 豆類（7地域の市場での取り扱い）

エリア	調査実施年	Zanzibar						Dodoma		Iringa		Ifunda		Lindi	Dar es Salaam			Morogoro			
		2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2017-20	2022	2017	2022	2023	2023	2023	2023	2023	2023	2023
		場所	Darajani	Chaani	Chaani	Paje	Makunduchi	Makunduchi	Majengo	Soko la	Soko kuu	既存の	市場とその	既存の	市場	Temeke	Nyuki	Kariakoo	Soko ya Mji	Kingar	Dumila
食品名(日本語、学名)	食品名(スワヒリ語等)	市場	市場	商店	1-11	商店1	商店2	市場	dugai	市場	市場	市場とその	付近の商店	付近の商店	付近の商店	市場	市場	市場	市場	市場	
えんどう豆	Njegere																				
インゲン	Maharage rekundu																				
レンズ豆	Dango																				
キマメ	Mbaazi																				
リュクトウ	Choroko																				
大豆	Maharagwe soya																				
グリーンピース	Njegere																				
パンパワ豆	Njugumawe																				
その他の豆類																					

表4 主食となる食品（7地域の市場での取り扱い）

エリア	調査実施年	Zanzibar						Dodoma		Iringa		Ifunda		Lindi	Dar es Salaam			Morogoro			
		2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2017-20	2022	2017	2022	2023	2023	2023	2023	2023	2023	2023
		場所	Darajani	Chaani	Chaani	Paje	Makunduchi	Makunduchi	Majengo	Soko la	Soko kuu	既存の	市場とその	既存の	市場	Temeke	Nyuki	Kariakoo	Soko ya Mji	Kingar	Dumila
食品名(日本語、学名)	食品名(スワヒリ語等)	市場	市場	商店	1-11	商店1	商店2	市場	dugai	市場	市場	市場とその	付近の商店	付近の商店	付近の商店	市場	市場	市場	市場	市場	
キャッサバ	Mhogo																				
(乾) キャッサバ	Mhogo																				
キャッサバの粉	Unga ya mhogo																				
ジャガイモ	Kiazi																				
米	Mchele																				
(湿) トウモロコシ	Mahindi																				
(乾) トウモロコシ	Mahindi																				
トウモロコシの粉	Sembe																				
モロコシ(赤)	Mtama nyekundu																				
モロコシ(白)	Mtama nNyeupe																				
サツマイモ	Viazi vitamu																				
サツマイモ(リシエ)	Lishe																				
長いも	Viazi wiku ndefu																				
芋	Gimbi																				
小麦粉	Unga ngano																				
小麦	Ngano																				
かぼちゃ	Maboga																				
バターナッツカボチャ	Butternut pumpkin **																				
調理用バナナ	Ndizi (kupika)																				
パスタ	Pasta																				
麺類	Tambi																				
パン	Mate																				
ビーツ	Beets																				
キビ	Uwele																				
ひょうたん	Mamumunya																				

\*\*Maleinge Eバターナッツカボチャと呼ぶ場合もある。

表5 果物（7地域の市場での取り扱い）

エリア	Zanzibar							Dodoma		Ininga		Ifunda	Lindi	Dar es Salaam			Morogoro			
	調査実施年							2022	2022	2022	2017-20	2022	2017	2023	2023	2023	2023	2023	2023	
	場所	Darajani 市場	Chaani 市場	Chaani 市場	Paje 商店 1-11	Makunduchi 商店1	Makunduchi 商店2	Majengo 市場	Soko la dugai 市場	Soko kuu 市場とその付近の商店	既存の 知見	市場とその付近の商店	既存の 知見	Temeke 市場	Nyuki 市場	Kariakoo 市場	Soko ya Mji Moya 市場	Kingar u 市場	Dumila 市場	Ngomero 市場
食品名(日本語、学名)	食品名(スワヒリ語等)																			
マンゴー	Embe	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
柑橘類	Chungwa	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バナナ	Ndizi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(樹) デーツ	Mtende	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スイカ	Takti maji	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
パイナップル	Nanasi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
タマリンド	Kwaju	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ココナツ	Nazi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
パパイヤ	Papai	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ジャックフルーツ	Fanesi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
インジアンフルーツ	Pasheni	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
グアバ	Mpera	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リンゴ	Tufaha	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ぶどう	Zabibu	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メロン	Tikti	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
レモン	Limau	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アザカド	Parachichi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
パイナップ	Mbupa	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
タマゴノキ <i>Spondias dulcis</i>	Embe ngongo	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ナガノゴレンシ	Mbilimbi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
パノノキ	Shelisheli	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ザクロ	Komamanga	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Vitex madaniensis</i>	Misasi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Vangueria sp.</i>	Misada	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Thespesia garckeana</i>	Mitoo	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Vitex doniana</i>	Mitudu	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Rainiera curatellifolia</i>	Misaula	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表6 種実類（7地域の市場での取り扱い）

エリア	Zanzibar							Dodoma		Ininga		Ifunda	Lindi	Dar es Salaam			Morogoro			
	調査実施年							2022	2022	2022	2017-20	2022	2017	2023	2023	2023	2023	2023	2023	
	場所	Darajani 市場	Chaani 市場	Chaani 市場	Paje 商店 1-11	Makunduchi 商店1	Makunduchi 商店2	Majengo 市場	Soko la dugai 市場	Soko kuu 市場とその付近の商店	既存の 知見	市場とその付近の商店	既存の 知見	Temeke 市場	Nyuki 市場	Kariakoo 市場	Soko ya Mji Moya 市場	Kingar u 市場	Dumila 市場	Ngomero 市場
食品名(日本語、学名)	食品名(スワヒリ語等)																			
ゴマ	Ufuta	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ピーナツ	Karanga	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒマワリ	Alizeti	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アーモンド	Miozi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
かぼちゃの種	Mbegu za maboga	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トウモロコシ	Nyomo	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表7 肉類（7地域の市場での取り扱い）

エリア	Zanzibar							Dodoma		Ininga		Ifunda	Lindi	Dar es Salaam			Morogoro			
	調査実施年							2022	2022	2022	2017-20	2022	2017	2023	2023	2023	2023	2023	2023	
	場所	Darajani 市場	Chaani 市場	Chaani 市場	Paje 商店 1-11	Makunduchi 商店1	Makunduchi 商店2	Majengo 市場	Soko la dugai 市場	Soko kuu 市場とその付近の商店	既存の 知見	市場とその付近の商店	既存の 知見	Temeke 市場	Nyuki 市場	Kariakoo 市場	Soko ya Mji Moya 市場	Kingar u 市場	Dumila 市場	Ngomero 市場
食品名(日本語、学名)	食品名(スワヒリ語等)																			
鶏	Kuku	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豚	Njwa	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
牛	Ng'ombe	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豚	Nguruwe	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
牛の足	Mguu wa ng'ombe	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表8 魚介類（7地域の市場での取り扱い）

エリア	Zanzibar							Dodoma		Ininga		Ifunda	Lindi	Dar es Salaam			Morogoro			
	調査実施年							2022	2022	2022	2017-20	2022	2017	2023	2023	2023	2023	2023	2023	
	場所	Darajani 市場	Chaani 市場	Chaani 市場	Paje 商店 1-11	Makunduchi 商店1	Makunduchi 商店2	Majengo 市場	Soko la dugai 市場	Soko kuu 市場とその付近の商店	既存の 知見	市場とその付近の商店	既存の 知見	Temeke 市場	Nyuki 市場	Kariakoo 市場	Soko ya Mji Moya 市場	Kingar u 市場	Dumila 市場	Ngomero 市場
食品名(日本語、学名)	食品名(スワヒリ語等)																			
(魚) タコ	Pweza	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) イカ	Ngisi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) マダロ	Tuna	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) カタチイワシ	Anchovy	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) カニ	Kaa	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) ジャックフィッシュ	Jackfish	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) ティフピア	Perege	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) サメ	Papa	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) 小魚	Dagsa	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) エビ	Udavi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) サメ	Papa	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) テフピア	Perege	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) キングフィッシュ	Kingfish	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) 貝	Samakigamba	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) タコ	Pweza	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) ナマズ	Kambare	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) 小魚	Dagsa	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚)	Bulujo	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) ハイギョ	Kamongo	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(魚) <i>Lucioides stappersi</i> ***	Migebuga	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小魚の粉	Dagsa	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Dutchodontidae</i> 科の魚	Ndungu	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

\*\*\* V. Bashemerwa "Credit for improved post-harvest technologies in fishing communities Kigoma region, Tanzania," FAO (https://www.fao.org/3/106066b/10606810.htm) より

あった。イリング、イフンダでも牛肉及び豚肉の2種類の取り扱いがあることが既知の知見として確認されている(表7)。

魚介類は、生の魚介類は、ザンジバルでのみ取り扱いが確認された。ダルエスサラームには魚介類専門の魚市場があるが、2023年は調査を

行っていないため、ダルエスサラームにおける生の魚介類については確認していない。乾燥された魚介類は全ての対象地域で取り扱いがあったが、取り扱う種類はザンジバルが最も多かった。ダルエスサラームで取り扱いのあったMigebugaはズスキの仲間である(表8)。香辛

表9 香辛料（7地域の市場での取り扱い）

エリア	Zanzibar						Dodoma		Iringa		Ifunda		Lindi	Dar es Salaam			Morogoro			
	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2017-20	2022	2017	2022	2023	2023	2023	2023	2023	2023	2023	
調査実施年	2022						2022	2022	2017-20	2022	2017	2022	2023	2023	2023	2023	2023	2023	2023	
場所	Darajani 市場	Chaani 市場	Chaani 市場	Paje 市場	Makunduchi 1-11 市場	Makunduchi 市場2	Majiengo 市場	Soko la dugali 市場	Soko kuu 市場とその付近の商店	既存の知見	市場とその付近の商店	既存の知見	市場	Temeke 市場	Nyuki 市場	Kariakoo 市場	Soko ya Miji u 市場	Kingar 市場	Dumila 市場	Ngomero 市場
食品名(日本語、学名)	食品名(スワヒリ語等)																			
スパイス各種	Viugo	○	○	○					○				○	○	○	○	○	○	○	○
唐辛子	Pilipili		○	○			○	○				○		○	○	○	○	○	○	○
トウガラシ属																				
ミント	Mnansa	○							○					○	○	○				
ローズマリー	Rosmeri								○					○	○	○				
(乾)レモングラス	Chaichai								○					○	○	○				
ローゼル(ハイビスカス)	Kalkade								○					○	○	○				
にんにく	Saumu (Thomu/Thomo)	○			○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
しょうが	Tangawizi			○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
タイム	Ndimu			○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
タイムの根	Unga wa ndimu																			
コリアンダー(葉)	Katmiri	○							○											
フェイル	Dili	○							○											
玉ねぎ(小)	Kitunguu		○																	
シナモン	Mdalasini																			
カルダモン	Hiliki																			

表10 その他のもの（7地域の市場での取り扱い）

エリア	Zanzibar						Dodoma		Iringa		Ifunda		Lindi	Dar es Salaam			Morogoro			
	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2017-20	2022	2017	2022	2023	2023	2023	2023	2023	2023	2023	
調査実施年	2022						2022	2022	2017-20	2022	2017	2022	2023	2023	2023	2023	2023	2023	2023	
場所	Darajani 市場	Chaani 市場	Chaani 市場	Paje 市場	Makunduchi 1-11 市場	Makunduchi 市場2	Majiengo 市場	Soko la dugali 市場	Soko kuu 市場とその付近の商店	既存の知見	市場とその付近の商店	既存の知見	市場	Temeke 市場	Nyuki 市場	Kariakoo 市場	Soko ya Miji u 市場	Kingar 市場	Dumila 市場	Ngomero 市場
食品名(日本語、学名)	食品名(スワヒリ語等)																			
鉄分の粉	Msemba (Kipemba)																			
サトウキビ	Muva																			
生活用品	Vifaa vya kushiki	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
菓子類	Vitafunio	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
清涼飲料(ジュース/ソーダ)	Juice (Soda)																			
卵	Yai					○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
飲用ココナツ	Dafu					○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
ミルク	Maziwa																			
調味道具	Vyombo vya kupikia																			
炭(スチール)	Majhu																			
ヤキ(薪火用)	Kuni							○												
炭(木炭)	Mkaa																			
薪炭類																				

料は、全ての地域で取り扱いが確認できたが、特にザンジバルとイリングで取り扱う種類が豊富であった。またダルエスサラームのKariakoo市場ではタンザニア国内産以外のスパイスの取り扱いもあった(表9)。その他のものは、大きい市場よりも地元住民が買い物に行く小さい商店での取り扱い種類が多かった。しかし、商店についてはザンジバルでのみ調査が行われたため、その他6地域については不明である。特徴的なものとして、ドドマではMpemba (Kipemba) という鉄分を補給するための砂状の鉄の取り扱いもあったが、実際は他地域にも存在する。菓子類の一種として、KingaruとDumilaではバオバブの菓子、Kingaruではゴマのおこしのような菓子「カシャタ」も確認できた(表10)。

食品群に関する考察

各食品の分類ごとに結果を考察する。葉物野菜については、ドドマ、ダルエスサラーム、モロゴロの市場での取り扱い種類が多いことが大きな特徴であった。ドドマは葉物野菜の摂取が

多い「内陸伝統消費パターン」の食事形態の地域である。また、乾燥技術が発達している地域でもあるため、葉物野菜に乾燥・加工を施し、保存性を高め備蓄食として利用していることが推察できる(武藤他, 2022)。また、ダルエスサラームは野菜供給の約86%をモロゴロに依存しているという先行研究(Ombeni et al., 2023)もあり、モロゴロで生産された野菜がダルエスサラームへ流通することにより、ダルエスサラームにおける野菜の取り扱いが豊富になっているものと考えられる。リンディでは、葉物野菜の取り扱いが少なく、これは乾季における野菜摂取頻度が低いことと関連していると考えられる(武藤他, 2022)。

その他の野菜については、ドドマ、イリング、ダルエスサラーム、モロゴロにて、パブリカ、カリフラワー、長ネギや万能ねぎの取り扱いがあった。西洋野菜はタンザニア人の食性には馴染みのない食品であり、ドドマでの西洋野菜の購入は地元住民によるものではないと考えられる。購入するのは西洋料理店が主であり、これらの西洋野菜は一般の家庭の食卓に並ぶこ

とはないようである。ダルエスサラームとモロゴロについては、前に述べているようにモロゴロの生産及びモロゴロからダルエスサラームへの流通により、取り扱い種類が豊かであると考えられる。

豆類は、どの地域でも取り扱いがあったが、特にドドマ、ダルエスサラーム、モロゴロでの取り扱い種類が豊富であった。先行研究では、乾季におけるリンディ州農村での豆類の摂取頻度がドドマ州農村と比較して有意に高かった（武藤, 2022）。本調査では先行研究とは異なる結果となったため、さらなる詳細な調査が必要である。

主食となる食品では、明らかな地域差は見られず、どの対象地域でもキャッサバ、ジャガイモ、米、トウモロコシ、サツマイモを主食としていることがわかる。これは、地域により違いはあるが、米飯、トウモロコシ、イモ類を主食としている先行研究の内容と一致する（阪本, 2022）。また、イリンガ及びイフンダ地域では、トウモロコシの粉の取り扱いが確認できなかったが、これらの地域では自家栽培をすることが多いため、本調査では確認できなかったと考える。

ザンジバルでは、果物の取り扱い種類が多いことが特徴の1つであった。これは、ザンジバルはリゾート地としても有名なため、果物は観光客向けの品揃えであると同時に、パッションフルーツやグアバといった、いわゆる南国フルーツは、雨量の多いザンジバルの特徴的な果物であることも背景にあるものと推察される。また、イリンガでは野生の果実も確認できた。

種実類は、モロゴロにて種類豊富に取り扱われていた。それぞれの地域で種類が豊富に取り扱われている理由については各対象地域の結論にて言及する。

肉類及び魚介類では、どの地域でも肉類よりは魚介類を取り扱うことが多かった。しかし、

ドドマ、イリンガ、イフンダ、ダルエスサラームでは乾燥させた魚のみの取り扱いであり、生の魚介類の取扱いは、ザンジバルのみであった。これは、ザンジバルがインド洋上に位置する地理的要因によるものと考えられる。またザンジバルでは、取り扱っていた魚介類の種類が多く、特にタコを取り扱う面積が大きかった。魚介類は生だけでなく乾燥させた種類も豊富であり、間食として食している人も見受けられた。肉類に関しては、ザンジバル、イリンガ、イフンダ、ダルエスサラーム、モロゴロの市場で取り扱われていることが確認できた。イリンガ、イフンダ、ダルエスサラームでは豚肉の取り扱いも確認できているが、ザンジバルでは、鶏肉と牛肉のみであった。これは、ザンジバルはイスラム教の特色が強い地域であることも関係している。公式な数値は調査・公表されていないが、タンザニア全体では、キリスト教が63%、イスラム教が34%、その他の宗教が5%と報告されているが、ザンジバルでは99%がイスラム教を信仰しているとの報告もある（USDS, 2021）。また、モロゴロでは、ハト肉を唯一取り扱っていた。なお、魚介類はスワヒリ語名での調査を行ったため、妥当な日本語名および英語名を判別できないものがあつた。魚介類の判別については専門知識及び言語的観点からの調査の限界が存在する。

香辛料については、どの地域も同様の取り扱い内容であった。しかし、取り扱い面積については、ザンジバルが他の地域と比較して明らかに広がった。これは、ザンジバルが香辛料貿易の拠点でもあつたという歴史的背景及びスパイスがザンジバルの特産品の一つであるためと考えられる。

その他については、日用品に関しては、やはり市場よりも地元住民が買い物に行くような商店での取り扱い種類が多かった。しかし、商店についてはザンジバルでのみの調査のため、他



地域との比較はできない。

### 地域特性に関する考察

7地域それぞれの地域特性についてまとめる。ザンジバルは、魚介類および果物の取り扱い種類が他の地域と比較して、多いことが特徴であった。これはザンジバルの地理的特性の影響が非常に大きい。魚介類が多い特性については、信仰上の理由から喫食可能な肉類が限られていることも1つの要因と考えられる。

ドドマでは、葉物野菜の取り扱い種類が多いことが最大の特徴であり、「内陸伝統消費パターン」の食事であること、乾燥技術が発達していることという2要因が大きく影響していると考えられる。

イリンガは野生の果実の取り扱いがあることが最大の特徴である。イリンガ州、ドドマ州、リンディ州の農村で行われた食事摂取頻度の地域差及び季節差を検討した先行研究（武藤他, 2022）では、イリンガ州の果物の摂取頻度は乾季、雨季ともに他の地域よりも高かった。1年を通して果物を摂取する特徴があるため、果物に加え、野生の果実の取り扱いも確認できたと考えられる。

イフンダでは、葉物野菜の取扱いは少なかったが、その他の野菜の取り扱い種類が多かった。先行研究にて、乾季のイフンダでは野菜はほぼ毎日食べていることが報告されている（Sakamoto et al., 2020）。先行研究と本調査の結果から、乾季では葉物野菜ではなく、その他の野菜が積極的に摂取されていることが推察できる。

リンディでは、果物、でんぷん質の植物、魚が平均的に取り扱われていた。これは、Gudrunら（2011, 2016）が同定した「海岸沿いの伝統パターン」の食事に対応した食品の取り扱いであることがわかる。

ダルエスサラームでは、種実類を除くほとん

どの食品類が豊富に取り扱われていた。これは、以前の首都であり、未だにタンザニアの主要都市である背景だけでなく、食材購入率が高く、個食化が進んでいるという食文化の変移も関連していると考えられる（阪本, 2022）。ダルエスサラームでは豆類を週に2～3回以上習慣的に食べる傾向が示されており（山崎, 2012）、この食習慣が豊富な豆類の取り扱いに関連していると推察される。

モロゴロでは、種実類の取り扱いが豊富であることが特徴的である。これは、モロゴロではヒマワリ、ココナッツなどを食用作物として生産及び販売しているという先行研究と一致する結果となった（Kangile et al., 2020）。種実類以外にも米、トウモロコシ、モロコシ、キャッサバ、ヒエを食用作物として生産している（Kangile et al., 2020）ため、どの市場でも取り扱いが確認できたと考えられる。

2023年の市場調査では、2022年の「市場及び商店での取り扱い食品は、各地域の食性を推察できる」という結果に加え、大都市および食料供給をする都市としての特徴が見えた。ダルエスサラームはかつての首都及びモロゴロからの食料輸送がされている背景との関連が推察できた。またモロゴロは、食料の生産及び販売能力と取り扱い食品の関連が考察できた。

### 謝辞と各著者の役割

本研究は、JSPS科研費22H00032の助成を受けて実施した。Migebukaの日本語名及び同定にお力添えくださった中村亮様に感謝申し上げます。また、現地調査にご協力くださったすべての関係者の皆様に深謝申し上げます。

武藤杏子は本報執筆とザンジバル及びドドマでの市場調査、津田勝憲はダルエスサラームでの市場調査及び食品名のスワヒリ語訳、加藤珠比はモロゴロでの市場調査、奥井鮎沙はドドマ、イリンガ、イフンダでの調査、林将之はダ

ルエスサラームとモロゴロでの市場調査及び植物の同定、大森玲子はザンジバルでの市場調査及び食品群分類の確認、阪本公美子は全ての対象地域での市場調査及び本調査と本報編集を担当した。

## 参考文献

石川寛子 (2000) 「日本の食文化研究と地域性」『日本食生活学会誌』11巻、3号、8-16頁。

阪本公美子、大森玲子、津田勝憲 (2022) 「食事日誌からみるタンザニア3地域における食品摂取-食品群別摂取頻度・入手元・世帯内差に関する分析の試み」、『宇都宮大学国際学部研究論集』53号、15-30頁。

武藤杏子、奥井鮎沙、津田勝憲、阪本公美子、大森玲子 (2023) 「タンザニア5地域の市場調査-取り扱い食品から見る地域食性」、『宇都宮大学国際学部多文化公共圏センター年報』15号、143-148頁。

武藤杏子、阪本公美子、津田勝憲、大森玲子 (2022) 「タンザニア4地域における食品摂取頻度の地域比較及び季節比較」、『宇都宮大学国際学部多文化公共圏センター年報』14号、166-176頁。

山崎敬子、小柳津周 (2012) 「タンザニア人の食生活に関する調査—ダルエスサラーム地区の食事摂取状況と健康意識および食品摂取頻度について—」『日本食生活学会誌』23号、2巻、111-116頁。

Cochrane, Nancy, Anna D'Souza (2015) "Measuring Access to Food in Tanzania: A Food Basket Approach," *Economic Information Bulletin* 135, United States Department of Agriculture.

Gudrun, B. Kending, John M. Msuya, Brigitte L. Maass, Michael B. Krawinkel (2011) "Dietary Patterns and Nutritional Health of Women: The Nutrition Transition in Rural Tanzania," *Food and Nutrition Bulletin*, vol. 32, no. 3.

Gudrun, Keding (2016) "Nutrition Transition in Rural Tanzania and Kenya," in H.K. Biesalski and R.E. Black RE (eds.): *Hidden Hunger. Malnutrition and the First 1,000 Days of Life: Causes, Consequences and Solutions. Nutrition Transition and Nutritional Deficiencies in Low-Income Countries*, Basel, Karger, *World Rev Nutr Diet*, vol. 115, pp. 61-74. DOI: 10.1159/000442073

Kangile, Rajabu Joseph, et al. (2020) "The Determinants of Farmers' Choice of Markets for Staple Food Commodities in Dodoma and Morogoro, Tanzania," *Agriculture*, vol. 10, no. 5: 142.

Ombeni, Swai, Betty Mntambo, and Maria Millinga (2023) "Cities' Food Synergies: Vegetable Production and Consumption between Morogoro and Dar es salaam, Tanzania," *Frontiers in Sustainable Food Systems*, vol. 7: 1168883.

Sakamoto Kumiko, Ohmori Reiko, Okui Ayusa (2020) "Situation of Women and Children in Southern Tanzania: From questionnaires in Ifunda, Iringa with focus on food-intake and health," *Journal of the School of International Studies, UU*, no. 49, pp. 61-78. <http://hdl.handle.net/10241/00012115>

The United Republic of Tanzania (2021) (URT), "National Sample Census of Agriculture 2019/2020." <https://www.nbs.go.tz/tnada/index.php/catalog/31> (2023年12月10日)

United States Department of State (USDS), Office of International Religious Freedom (2021) Tanzania 2020 International Religious Freedom Report. <https://www.state.gov/wp-content/uploads/2021/05/240282-TANZANIA-2020-INTERNATIONAL-RELIGIOUS-FREEDOM-REPORT.pdf> (2022年11月22日)